

## 産学官連携協定を締結



↑協定締結式の様子

9月27日、東日本国際大学において、東日本国際大学、いわき短期大学、いわき明星大学、福島工業高等専門学校、いわき市、広野町、楡葉町、いわき商工会議所は復興を担う人材育成や地域活性化を目指す産学官連携協定の締結式が行われ、共同組織「福島浜通り復興創生キャンパスコンソーシアム」を結成しました。学校法人昌平賢の緑川浩司理事長は、「各機関の強みを活かした長期的な共同事業を展開し、持続可能な浜通りの復興・創生を実現したい。」と挨拶しました。各機関の代表が浜通りの復興・創生に向け、協力を誓い合いました。

## 第16回ひろの健康ウォークを開催



↑天候にも恵まれた健康ウォーク

10月6日、第16回ひろの健康ウォークが開催され、保健センターをスタート・ゴールに7キロコースと4キロコースを約50人の参加者が歩きました。ウォーキングの前には福島県立医科大学の岡崎可奈子先生から正しい歩き方について助言を受けた後、一斉に出発しました。

参加者は秋晴れのもと、太平洋の雄大な景色を楽しみながら秋の広野路を満喫し、心地よい汗を流していました。

## 広野町地域包括支援センター運営協議会委員委嘱状交付式



↑委嘱状交付の様子

10月17日、広野町地域包括支援センター運営協議会委員委嘱状交付式を実施しました。本協議会は、地域包括支援センターの運営および評価並びに介護保険以外のサービスとの連携形成などに必要な議論を行う場となります。今後、高齢者が増加し、75歳以上の後期高齢者の比率が高まる中で、住み慣れた自宅や地域において、これまで通り生活できるような支援への需要が高まることが予想されます。その上で、地域包括支援センターをより良いものとするため、本協議会委員の方々が議論を進めていきます。

## 広野町幼小中魅力化検討委員会が提言書を提出



↑提言書を受け取る遠藤町長（左）

10月1日、広野町幼小中魅力化検討委員会は、広野町に情報通信技術（ICT）を活用した教育推進などを求める提言書を提出しました。提言書では、ICTを活用し、ふたば未来学園中との連携による多様性や専門性のある教育を実現するよう求め、グローバル教育や個性を生かす教育の推進なども盛り込まれたものです。

遠藤町長は、「町の教育の礎をなす提言書を最大限に生かして新たな取り組みを進め、町の教育の魅力を高めていきたい。」と話しました。

## 兵庫県たつの市と交流協定締結



↑協定を締結した山本実たつの市長（写真左）と遠藤町長（写真右）

10月5日、広野町と兵庫県たつの市は、両市町の作詩コンクールなどで誕生した童謡を歌い、童謡の魅力为全国に発信するため「童謡の里づくりのまち」交流協定を締結しました。締結式では遠藤町長と山本実たつの市長が協定書に署名し、握手を交わしました。

山本市長は、「広野町は東の拠点、たつの市は西の拠点として童謡の普及に取り組みたい。」と述べ、遠藤町長は、「童謡の魅力を未来の子どもたちにつないでいく。」と挨拶しました。

## 人権擁護委員感謝状・委嘱状伝達式を実施



↑法務大臣から感謝状を贈られた新妻富美子さん（中央）

10月3日、人権擁護委員への感謝状と委嘱状の伝達式が行われました。はじめに、平成12年から6期18年にわたり人権擁護委員を務め、平成30年9月30日をもって退任する新妻富美子さんへ法務大臣からの感謝状が齋藤晶福島地方務局いわき支局長から伝達されました。感謝状は人権相談や小・中学校での人権協室、各種イベントにおける啓発など様々に活動されたことが評価されたものです。

感謝状の伝達後、平成30年10月1日から新妻さんの後任として新たに委嘱される島村智子さんと、同日付けで再任される根本賢仁さんへ法務大臣からの委嘱状が齋藤支局長からそれぞれ伝達されました。2人の任期は平成33年9月30日までの3年間です。

## 広野町消防団・婦人消防隊秋季検閲式を実施



↑秋季検閲式の様子

9月30日、広野町消防団・婦人消防隊秋季検閲式が広野町中央体育館で行われ、町消防団員、婦人消防隊員、東京電力広野火力発電所自衛消防隊員ら60人が参加し、矢内団長からの訓辞に耳を傾けていました。

遠藤町長は、「近年発生している自然災害により住民の防災防火への関心がより一層高まり、消防団への期待はますます大きくなっています。今後とも消防の重要性を胸にきざみ、自信と誇りを持ち、活動に励んでください。」と訓辞を述べました。また、来賓として出席した吉野正芳復興大臣、吉田栄光県議会議員、黒田政徳町議会議長らが祝辞を述べました。

## 廣野橋渡り初め式を実施



↑渡り初め式に参加された皆さん

10月4日、東日本大震災の津波被害にあった廣野橋の架け替え工事が終わり、渡り初め式が実施されました。式典では、末永く橋が安心して使えるようにと、渡辺夫婦3世代6人が橋の渡り初めを行いました。

遠藤町長は、「災害に強い道路と橋が完成したことは、復興の力になる。」と話しました。廣野橋は、堤防のかさ上げ町道の改良工事に伴い、従来より約3メートル高く架け替えられました。